

平成 27 年度
視察等の届出・報告書
(届出番号 4～5)

平成27年度 視察等の届出・報告書（4～5）

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
4	8月4日 ～6日	妹尾智之		東京都 参議院会館（地方創生の実現に向けて・少子化社会対策大綱）・（株）社会保険研究所（地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー）

議長

副議長

局長

GL

係

回覧



様式第1号

平成 27 年 7 月 15 日

真庭市議会

議長 竹原茂三 殿

真庭市議会議員 妹尾智之



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪問先

参議員会館

(株) 社会保障研究所

3 内 容

地方創生について

社会保障セミナー

4 行 程

別紙のとおり 8月4日～6日

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



公明党真庭市議団 研修日程表

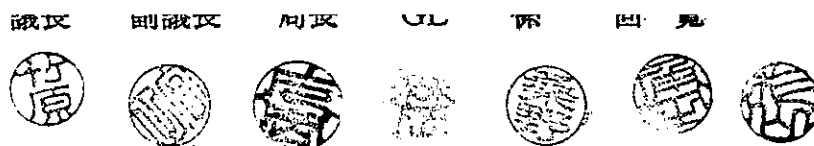
期 日	行 程
8月 4日(火)	真庭市 →→→ 岡山空港発 (ANA654便) >>> 羽田空港着 == 参議国会館 7:00 9:35 10:55 13:30 → 秋葉原ワシントンホテル(宿泊)
8月 5日(水)	秋葉原ワシントンホテル → (株)社会保険研究所(セミナー) 10:00~17:00 9:15 秋葉原ワシントンホテル(宿泊)
8月 6日(木)	秋葉原ワシントンホテル → (株)社会保険研究所(セミナー) 9:00~15:45 羽田空港発 (ANA657便) >>> 岡山空港着 →→→ 真庭市着 17:55 19:10 20:30

【 研修先 】

参議国会館 東京都千代田区永田町2-1-1 電話:03-6550-092
 (株)社会保険研究所 東京都千代田区内神田2-4-6 電話:03-3253-057

【 宿 泊 】


秋葉原ワシントンホテル 東京都千代田区佐久間町1-8-3 TEL 03-3355-3311



様式第2号

報告書

平成 27 年 8 月 7 日

報告者 真庭市議会議員 氏名 妹尾智 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 平成 27 年 8 月 4 日 (午前・午後) 9 時 45 分 至 平成 27 年 8 月 6 日 (午前・午後) 20 時 30 分
2 場 所	谷合正明参議員会館事務所 (株) 社会保障研究所
3 用 件	参議員会館事務所：地方創生の実現に向けて 少子化社会対策大綱 第7回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー
4 概 要	参議員会館事務所 ・地方創生の実現に向けて 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 松木 望 ・少子化社会対策大綱 (概要) 内閣府 子ども・子育て本部 企画第1係長 加藤 翔一 内閣府 子ども・子育て本部少子化担当 参事官補佐 橋爪 孝明

報告書 (継紙)

地方創生の実現に向けて

まち・ひと・しごと創生基本方針2015（6月30日閣議決定）

I. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

①地域経済を巡る現状 ②ローカルアベノミクスの実現に向けて

II. 地方への新しいひとの流れをつくる

①地方居住の推進 ②「日本版CCRC」構想の推進 ③企業の地方拠点強化

④政府関係機関の地方移転 ⑤「奨学金」を活用した大学生等の地方定着の促進

III. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①「地域アプローチ」の推進

IV. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

①都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成 ②「小さな拠点」の形成

地方創生に向けた多様な支援

支援の充実 ○情報支援 ① 地域経済分析システム（RESAS）

○人的支援 ① 地方創生コンシェルジュ

② 地方創生人材支援制度

③「地方創生人材プラン（仮称）」

「新型交付金」の創設

少子化社会対策大綱（概要）

～結婚、妊娠、子供、子育てに温かい社会の実現をめざして～

少子化社会対策基本法に基づく総合的かつ長期的な少子化に対処するための施策の指針

I. 重要課題

①子育て支援策を一層充実

②若い年齢での結婚・出産の希望の実現

③多子世帯へ一層の配慮

④男女の働き方改革

⑤地域の実情に即した取組強化

Ⅱ. きめ細かな少子化対策の推進

①各段に応じた支援

・結婚 ・妊娠、出産 ・子育て

・教育 ・仕事

②社会全体で行動し、少子化対策を推進

・結婚、妊娠、子供、子育てに温かい社会づくり

・企業の取組

Ⅲ. 施策の推進体制等

①国の推進体制

②施策の検証・評価

③大綱の見直し

第7回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー

8月5日（水）講義内容

講義1 「地域包括ケアと地方自治体」

講師：唐澤 剛（厚生労働省保険局長）

講義2 「高齢者の栄養指導と食事」

講師：奥村 圭子（管理栄養士/三重大学大学院医学系研究科地域医療学講座
/在宅栄養支援の和世話人）

講義3 「地方創生」

講師：伊藤 明子（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長/
内閣府 地方創生推進室次長）

講義4 「いま、何故ふるさと回帰なのか ～田舎暮らしのすすめ～」

講師：高橋 公（ふるさと回帰支援センター代表理事）

8月6日（木）講義内容

講義1 「国民健康保険制度改革」

講師：中村 博治（厚生労働省 保険局国民健康保険課長）

講義2 「地方議員の年金」

講師：長沼 明（浦和大学客員教授）

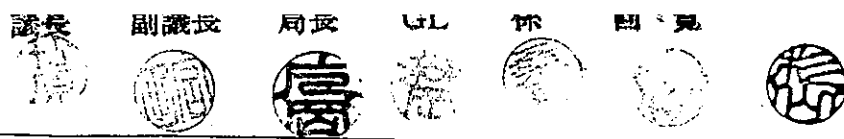
取材の現場から ①谷野 浩太郎（『社会保険旬報』編集長）

②青山 淳一（『介護保険情報』編集長）

③阿部 正大（『年金時代』編集長）

平成27年度 視察等の届出・報告書（4～5）

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
5	11月18日 ～19日	河部辰夫	築澤敏夫・初本勝	福島県福島市（第10回全国市議会議長会 研究フォーラム）



平成27年 7月 17日

真庭市議会
議長 竹原茂三殿

真庭市議会議員 湯部厚夫 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

福岡県 福岡市

3 内 容

福岡県議会研修会
総務会、湯部厚夫、初平勝、桑沢敏夫
2日目はEコース

4 行 程 別紙のとおり 11月18日、19日

5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

11/18~19



開催概要

■日 時

第1日目：平成27年11月18日（水）13:00開会（開場・受付 12:00）

第2日目：平成27年11月19日（木）9:00開会（開場 8:30）

■場 所 福島県文化センター（福島市春日町5-54）

[意見交換会場：エルティ（福島市野田町1-10-41）]

※福島県文化センターからバス移動

■主 催 全国市議会議長会

■後 援 総務省（予定）

■実 施 第10回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

■プログラム内容

第1日目（11/18）

第1部 基調講演

「大震災からの復興と備え」

五百旗頭 真 氏 熊本県立大学理事長

第2部 パネルディスカッション

「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」

コーディネーター 城本 勝 氏 前NHK解説副委員長

パネリスト 大滝 精一 氏 東北大学大学院経済学研究科教授

役重眞喜子 氏 花巻市コミュニティアドバイザー

山下 祐介 氏 首都大学東京准教授

金井 利之 氏 東京大学公共政策大学院教授

佐藤 一好 氏 福島市議会議長

第3部 意見交換会

第2日目（11/19）

第4部 課題討議

「震災復興と議会～現場からの報告」

コーディネーター 河村 和徳 氏 東北大学情報科学研究科准教授

事例報告者 3市（予定）

第5部 視察

※登壇者は変更になる可能性があります。

C 福島市／防災・除染関連施設視察

【日帰り】

コースポイント

噴火警戒レベルが上がった吾妻山。福島市の防災関連についての取組をご視察していただきます。

- 募集人員：40名
- 最少催行人員：30名
- 旅行代金（お一人様あたり）：8,000円
- 食事：昼食1回
- 旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用
- 添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター	====	福島市内 (昼食)	====	◎吾妻山防災関連視察	====
		11:30			13:00	14:00
	====	◎除染情報プラザ	====	◎福島市民家園	====	JR 福島駅
	14:30	15:30	16:00	17:00	17:30	

【吾妻山防災関連視察】吾妻山火山防災マップの概要について説明を受けます。
 【福島市民家園】江戸時代から明治時代にかけて栄えた県北地方の養蚕業により、絹の集散地として繁栄した福島市の歴史を物語る建築などを移築保存しています。園内の養蚕農家や民家、商人宿、国登録文化財の芝居小屋の旧広瀬座などの見学とともに施設概要について説明を受けます。

D 福島市・伊達市／文化財活用事例視察

【日帰り】

コースポイント

史跡宮畑遺跡では、史跡公園「じょーもびあ宮畑」の平成27年度全面オープンに向け整備を進めている施設見学、近隣市町村の伊達家ゆかりの地を訪問していただきます。

- 募集人員：40名
- 最少催行人員：30名
- 旅行代金（お一人様あたり）：8,500円
- 食事：昼食1回
- 旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用
- 添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター	====	福島市内 (昼食)	====	◎じょーもびあ宮畑	====
		11:30			13:00	13:40
	====	○旧梁川亀岡八幡宮	====	◎市立梁川認定こども園	====	JR 福島駅
	14:10	15:00	15:20	16:30	17:30	

【じょーもびあ宮畑】縄文時代の遺跡である国史跡宮畑遺跡を整備した公園。展示室、縄文時代の復元建物（竪穴住居、掘立柱建物）、露出展示棟、体験学習施設、休憩棟、炊事棟、子ども用遊具等の施設見学と概要説明を受けていただきます。
 【旧梁川亀岡八幡宮】伊達市梁川町八幡字堂庭地区の阿武隈川の畔近くに位置し、正式名称は八幡神社といます。若宮八幡という古称も伝えられています。古い時代から梁川の八幡宮として信仰され、鎌倉初期に伊達氏が伊達郡に入部して、伊達氏の氏神亀岡八幡宮を合祀してから、亀岡八幡宮と呼ばれるようになりました。伊達氏の厚い保護を受け、伊達六十六郷の惣社として威容を誇りました。鐘楼、観音堂、三重塔跡、園地などが長い参道の両側に残り、いまも往時の面影を残しています。近年では、富野八幡とも呼ばれ、最近は梁川八幡の呼称をも用いるようになりました。
 【市立梁川認定こども園】公立幼保連携型認定こども園。平成26～27年度建設、平成27年8月開園。定員216名。

E 二本松市／地域特産品活用と地域コミュニティ活用事例視察

【日帰り】

コースポイント

二本松には、藩政時代より菊の愛好者が多く、昭和初期から菊人形が街に飾られていました。福島県立霞ヶ城公園（国指定史跡「二本松城跡」）を会場に、華々しく開かれる菊人形をご見学、その後、地域コミュニティの6次産業化への取組をご視察していただきます。

- 募集人員：40名
- 最少催行人員：30名
- 旅行代金（お一人様あたり）：9,000円
- 食事：昼食1回
- 旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用
- 添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター	====	(車中弁当)	====	◎二本松の菊人形	====
		11:30			12:30	13:30
	====	◎ゆうきの里東和	====	JR福島駅		
	14:15	15:30	16:45			

【二本松の菊人形】日本三大菊人形のひとつ。二本松には、藩政時代より菊の愛好者が多く、昭和初期から菊人形が街に飾られていました。その後、昭和30年から趣向を変え、現在の「菊の祭典」として華々しく開かれるようになりました。毎年10月中旬から11月下旬まで開催されており、霞ヶ城（旧二本松城）を舞台に、艶やかな菊の花と色づく紅葉が会場全体をうめつくします。第61回（2015年）のテーマは「幕末維新伝」です。
 【ゆうきの里東和】第5回地域再生大賞準大賞を受賞した、ゆうきの里ふるさとづくり協議会の各種活動状況や6次産業化、交流・定住の取組について視察します。